

開催日時	平成30年10月16日(火) 午前10時～午後12時		
開催場所	西尾市役所52会議室		
出席者	【会長】		
	日本福祉大学	国際福祉開発学部教授	千頭 聡
	【副会長】		
	NPO 法人やらまいか人まちサポート	理事長	牧野明広
	【評価会議会員】		
	西三河漁業協同組合	総務部長	稲吉志乃武
	西尾市観光協会	専務理事	田中 等
	連合愛知三河中地域協議会 西尾地区連絡会	副議長	長谷憲央
	西尾商工会議所中小企業相談所	所長	若杉真吾
	西尾信用金庫	企業支援部長	樺山幸彦
	【事務局】		
	企画部企画政策課	課長	齋藤武雄
	企画部企画政策課	課長補佐	本田正浩
	企画部企画政策課	主査	下村幸成
企画部企画政策課	主事	鈴木 恵	
【交付金対象事業関係者】			
産業部商工観光課	主任主査	芝田憲吾	
欠席者	西三河農業協同組合	営農部長	黒野善久
	株式会社 キャッチネットワーク	代表取締役副社長	松永光司
	保育園園長	矢田つばみ保育園	杉浦孝子
内容	<p>1 開会及びあいさつ 企画政策課長よりあいさつ</p> <p>2 議題 西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく施策の平成29年度 の取組状況等について 事務局及び交付金対象事業関係者より説明 〈会員からの主な意見〉</p> <p>【牧野副会長】 東京での物産展における認知度が上がったとあるが、交流人口の増加とリンク しているか。来訪者の内、物産展をきっかけに来ている人を把握できれば、物産 展の効果を図ることができる。</p> <p>岡崎のJAが支所を廃止することに伴い、買い物難民対策として移動販売車を 積極的に展開していく。西尾市においても、旧郡部において買い物難民がたくさ んいるため、JAと連携した対策を講じていくことで暮らしやすい街を実現して ほしい。</p> <p>【事務局】 観光客等のうち物産展などをきっかけに訪れてくれた人を把握する仕組みは、 現状ではない。観光基本計画の改定の中で、市内に来ている観光客の属性を把握 することに努めている。</p>		

買い物難民については、岡崎の額田地区ほどの状況ではないと考えているが、関連する取組みである交通ネットワークや公共交通の見直しを議論する中で、高齢者の脚の確保をするとともに買い物難民が生まれないよう今後、対応を検討していければと考えている。

【若杉会員】

事業承継支援実績と創業支援実績の件数が少ないと考えるが、どのように数字を把握しているのか。

【縦山会員】

事業承継が完了したものを実績として報告しているが、関与したものを件数と計上していけば、もっと件数は多くなる。

【事務局】

戦略策定時の考え方として、事業承継が完了したものをカウントしていくとしたため、現行の計画の期間については、現状の形で行く。

【長谷会員】

人口の推移として、高齢者が増えている中で、企業としては育児と介護がキーワードになり、そういうものが原因での離職を減らして、就業者数を確保しているが、地域包括支援センターなど受け皿の拡充の予定は。

【事務局】

具体的な数値は把握していないが、拡充していく予定。

【縦山会員】

人口増の要因は、日本人によるものか外国人によるものか。

【事務局】

日本人は減少し、外国人は増えているというのが実情。

【田中会員】

特産品を活用した新商品開発を市と連携して行っているが、流通していないのが現状。今年度からスギ薬局と連携して、新商品を試験的に販売していただいているが、流通確保に係る支援や取り組みをお願いしたい。

【稲垣会員】

アサリの不漁について、昨年、試験的に浄化センターで栄養塩（リン）のある水を排出していただき、一定の効果が見られた。一方で、県の水産試験場の研究によるとアサリの産卵時期が8～11月にずれ込んだことで、その後の冷え込みによりアサリが死んでしまうというような状況が新たに懸念されている。

【縦山会員】

政策目標指標の交流人口の減少の要因はあるか。

【事務局】

20万人減少した要因としては、アサリの不漁に伴う潮干狩りの中止による影響が約11万2千人、憩いの農園で6万8千人、さかな広場で3万8千人の減少していることが考えられるが、各施設の減少要因については把握できていない。

【稲垣会員】

潮干狩りは、資源がないため開催できない状況。しかしハマグリが捕れる可能性があるため今後の動向に期待したい。

【田中会員】

佐久島では、昨年度からサツマイモを活用した新商品（焼酎）の開発に取り組んでいる。来年度に、三河一色えびせんべい組合との連携によりサツマイモとえびせんべいのコラボ商品なども検討している。

おもてなし大学の卒業生がおもてなし隊に加入し観光ガイドなどで活躍いただいている。

竜の子街道プロジェクトでは、各市のツアーを実施し、西尾市のみが催行され

た。ツアーでは最少催行人員により開催できないことがあるため、今年度は宿泊プランを造成し、展開している。また、事業の一環で作成したサイクリングマップはニーズが大きく、今年度も増刷した。近隣市町と連携しつつ推進することで新たな交流人口の創出に繋がると考えている。

【縦山会員】

こどもの国が地域のNPOにより運営されているが、戦略の中で触れられていない。多世代が交流できる施設として観光に一役買う可能性がある。また、沿岸部が続く地域柄、民泊などは需要があるのではないか。他市にはない環境を活かし、モノづくりと自然環境を活かした地域活性化に繋げてはどうか。

【田中会員】

こどもの国を拠点にした果物狩りなど新たな体験メニューの創出や、地形を生かした陸上部の合宿の誘致などを商工会議所、一色商工会、西尾みなみ商工会、観光協会、こどもの国、スポーツ界で構成する6者会で考えている。

【事務局】

こどもの国の活用は課題として認識しているが、県の施設ということもあり、どこまで連携できるかを模索している状況。自然を生かした体験教室なども行っているため、いきものふれあいの里との連携など可能性を探っている。

【千頭会長】

KPIの内、外国人宿泊者数や海外からのホームページへのアクセスに関連し、外国人が旅行先を探す際は、訪日外国人が書いたトリップアドバイザーの記事を見て、決めるというのが一般的。従来型のHPの閲覧やガイドブックの需要は小さくなっているため、そういった視点も踏まえて戦略的にPRを展開する必要があるのではないか。

【田中会員】

タイへのプロモーションを今年度予定しており、その中で、訪日タイ人向けのツアーを企画し、口コミによる情報拡散にも取り組む予定をしている。

【縦山会員】

結婚支援事業について、ニーズはどのようなか。近隣自治体でも行っているのか。

【事務局】

男性については、応募が殺到しているが、女性については人の確保に苦慮している。過去の参加者の中で5組の成婚者が誕生している。近隣市での実績もある。

【長谷会員】

労福協において同様の取り組みを行っており、女性の確保に苦慮している点も同一である。

【千頭会長】

結婚支援事業について、結婚に対する正しい知識の提供とあるが、正しいという表現が不適切ではないか。

【事務局】

表現について、改めるように検討します。

【若杉会員】

出生率について、近隣市の中で最下位であり、一方で高浜市・知立市については高い数値が出ているが、どのように分析しているか。

【事務局】

大企業が集積する刈谷市は土地が高価であることや十分な数がないことなどから、近隣の知立市や高浜市などに流れていると考えており、施策や取り組みによる差ではないと考えている。

【若杉会員】

出生率もそうだが、行政間の競争力の観点から、交通も非常に重要であると考

えている。にしがま線の存続も重要であるが、西尾線の複線化も非常に重要であると考えているかどうか。

【事務局】

市も同一の考えであり、昨年度に行った総合計画の見直しの中で複線化について言及している。また、毎年1回名鉄に対して、複線化を粘り強く要望している。

【縦山会員】

コンベンションホールをにぎわい創出に活用するとしているが、具体的な方策はあるか。

【事務局】

コンベンションホールに観光協会が移設されたことで、情報発信や観光交流のキーステーションとしてにぎわい創出のきっかけになればと考えている。

【若杉会員】

高架下の有効活用については、可能性はどうか。尼ヶ坂―清水間で高架下を活用した開発が名鉄主導で進んでいるが、西尾市における可能性は。

【事務局】

名鉄としては、事業に支障がなければ有効活用したいという思いは持っているのではないかと。商工会議所などから要望などをいただければ、名鉄に対して話をしていくことは可能である。

【田中会員】

コンベンションホールはイベントなどによる活用は生まれつつあるが、駅からホールまたは観光協会への案内がないため、利用者が前年同期比で半分に減少している。導線の確保を要望したい。

【千頭会長】

推進交付金の評価について、KPI等への貢献度はどのようなか。

【会員一同】

寄与していると考えている。

【縦山会員】

消防団員の確保の方策はどのようなか。機能別消防団の役割は。

【事務局】

消防団及び機能別消防団ともに団員の確保には苦慮している。地域によって差はあるが、町内会単位で割り当てがあり、町内の役員による選出や団員が後継者を見つけてきていたが、現在は、広く公募も行っている。機能別消防団については、主に大規模災害時における避難誘導などがメインとなり。火災発生時における消火活動などは担っていない。

【長谷会員】

平坂や矢田地区の人口増に伴い、最寄りの保育施設に入れれないといった状況が生まれており、施設の整備が区画整理に追いついていない現状があるのではないかと。今後の見通しなどを教えてほしい。

【事務局】

矢田保育園などは施設の老朽化に伴う更新を予定しているため、そういう機械をとらえ、状況にあった形に整備していきたい。また、未満児の保育の要望が増えていることから保育士の確保やハコモノ整備が追いついていないという状況もあるが、ハコモノの整備については将来的な人口の推移を考慮した上で対応していくべきものであると考えている。

【縦山会員】

アサリ漁を営む方への影響は。

【稲垣会員】

廃業している方も多く、400人近くいた方が、現在は200人くらいに減少している。漁に出るよりアルバイトをする方が効率的な状況であり非常に厳しいのが実情。

【千頭会長】

政策目標指標やKPIについて、目標値の到達が厳しそうなものについては、対応を考えていく必要がある。本日皆様からいただいた意見は今後の取り組みの参考とさせていただくとともに、今回の取り組み状況を一部反映するとして、最終案は会長に一任していただく。本日の会議を終了させていただきます。